

ほっこり福祉会創立10周年を迎えて

社会福祉法人ほっこり福祉会

理事長 木下 隆司

社会福祉法人ほっこり福祉会創立10周年記念式典に暑い中、大勢のご来場ありがとうございました。

またご来賓の皆様には、公務ご多忙のところご臨席いただき誠にありがとうございました。

当法人は、平成19年8月1日に ほっこの里を開所する事で、生活介護・自立訓練・就労移行支援の知的障害者通所施設を運営する社会福祉会としてスタートいたしました。

法人の設立は、知的に障害が有るの子供を持つ親たちが、高齢になっていく中、親亡き後を案じ、安心して生活ができる施設を作るため、平成16年4月に法人の設立準備を始めました。

「貝塚市手をつなぐ親の会」の皆様、地域にお住まいの皆様にご支援をいただき社会福祉会設立に向け活動を始めましたが、順風満帆とは言えない長い年月がかりました。

平成15年度より施行された支援費制度、平成18年に施行された障害者自立支援法など障害者福祉環境めまぐるしく変わる中、ノーマライゼーションと自立支援が時代の主流となり、親亡き後を語ることも許されなくなりました。

時代の流れに流されたのかもしれませんが、監督官庁より障害者自立支援法に沿った通所施設を勧められた事もあり、現在のほっこの里の事業申請を行うことになりました。

その後、平成19年1月15日ようやく社会福祉会認可申請が受理され2月に社会福祉会の認可を受けることが出来、ほっこの里の事業認可を受けることが出来ました。

その際、完成監査に来た府の職員に知らされたことですが、新法の障害福祉サービス事業所を掲げた事業所は、始めて見たとのことでした。

詳細は判りませんが、障害者自立支援法に変わって大阪府内で相当早いのだなと思いました。

その後も、利用者の少ない時期もありましたが、ほっこの仲間が障がいがあるけれども地域で、自信を持って、自立して、輝いて、幸せに暮らせるよう生きていけるようを合言葉に支援を頑張ってまいりました、有難いことに地域には心強いサポーターが大勢いました。

ほっこの仲間と共に、陶芸、体操、書道等色々な趣味の指導や、手伝をして

下さる・先生・クラブ員や色々なグループ皆様

授産品作成の指導を行ってくれる先生。

お仕事をさせて下さる 企業の方々・授産品を販売して下さる お店や会社
方々など、多くの暖かいご支援支えて頂きました。

ほっこの仲間を代表いたしまして 改めてお礼を申し上げます。

また今後ともよろしく願います。

式典を行うに付きまして、今年1月に利用者の会（利用者の自治会）から10周年を盛り上げたいと申し入れがありました。

第二部及び第三部のプログラムは自治会の役員を中心に会員皆様が色々な案を持ち寄り、計画の原案を作ってくれました。

第二部のコンセプトは、『自信を持って、輝いて』です。ほっこの仲間の日頃の活動を発表する舞台上、童謡・ダンス・よさこい踊りを、先生方の熱心な指導のもと、ほっこの仲間と職員が大きな舞台上で発表出来る様に、2月から半年間毎朝汗だくで練習を重ねました。

第三部のコンセプトは、ほっこの仲間が観客になり、『みんなで楽しむこと』です。

社会福祉法人清光会 和太鼓韻の勇壮な和太鼓、演奏とほっこの仲間にもファンの多い地元のロックグループ CRUSH のコンサートを楽しむことができました。

和太鼓韻・ロックグループCRUSHの皆さん、ほっこの仲間のために、本当にありがとうございました。

最後に、皆様のご協力のおかげで、ほっこり福祉会創立10周年記念式典を無事に行うことが出来ました。

今後、ほっこり福祉会は前理事長の（知的に障害が有る子供が地域社会での共に暮らせるよう、お力添えを頂きたい）という言葉にこたえる為、今は在宅支援・相談支援・通所支援しかできていませんが、今後は利用者とそのご家族の高齢化に対応出来る支援を積極的行いたいと思います。

<http://crush-music1.com/index2.html>

<http://s-seikoukai.or.jp/hibiki>